

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果(藤沢中学校)

### 平均正答率

#### ○平均正答率の公表

- ・平均正答率を数値で表示
- ・平均正答率をグラフで表示
- ・全国を100とした場合の各校の平均正答率の割合を数値で表示
- ・全国を100とした場合の各校の平均正答率の割合をグラフで表示

### 生徒質問紙調査の結果

- 1日1時間以上勉強をしている生徒の割合が、全国と県平均を上回っている。
- 毎日朝食を食べている生徒の割合が、全国と県平均よりも上回っている。
- 地域の行事参加している生徒は、全国と県平均よりも上回っている。
- 毎日同じ時刻に寝ている生徒が、全国と県平均を比較して下回っている。
- 自分には良いところがあると思う生徒が、全国と県平均を比較して下回っている。

### 藤沢中のよかった点○と課題●

- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う問題の中では、平均正答率が90%を越えているものがある。
- 数学Aの問題から単項式どうしの除法の計算についてなど基本的な技能の理解は高い。
- 県や市内平均に比べ13ポイント差があるが、記号や公式に関係する問に対しては差が小さく、基本的な学習内容は概ね理解していると思われる。
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する問題が苦手である。
- 文脈の構成や展開について自分の考えを持つ問題や、質問の意図を捉える問題が苦手である。
- B問題「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理すること」「計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明すること」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」「発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き表すこと」など説明や証明といった部分に課題がある。

### 課題への取組・改善策

○:学校 ◎:家庭

- 学校では、授業の中で意図的に理由を表現する場を取り入れ、生徒の言語活動の充実を図ります。
- 学校では「学習の見通しの立て方」を各教科で統一して指導し、自ら計画を立てて取り組む力を高めます。
- 「本時の目標」を明確に、一時間のなかの到達目標をはっきりとさせ、板書用の掲示物を統一し、授業の流れを「見える化」します。
- 基礎プリントを活用した反復学習を充実させ、基礎学力の定着と学力向上につなげます。
- ◎家庭学習は、時間を決めて計画的に取り組みましょう。
- ◎「早寝、早起き、朝ご飯」など、家庭での生活習慣の確認と見直しをお願いします。